

6 LOCK-ON

2学期スタート!

立山町立立山北部小学校
6年 学年だより
9月号 R4. 9月

いよいよ、6年生として飛躍する2学期となりました。子供たちは、夏休みから気持ちを切り替え、学習に取り組んでいます。2学期の始業式には、子供たちに「自分から進んで学ぶ」「自分から進んで関わる」「自分から進んで働く」という三つのキーワードを掲げて、よりよい自分・クラス・学校にすることを目標としました。自分ができることに精一杯取り組み、実りある2学期になるように支援していきたいと思います。

転入生が仲間入りしました!



仲間が増え、さらに元気で明るいクラスになるよう、子供たちががんばっていきます。



雄大な大自然

立山登山



8月1日(月)に、夏空の下、立山に向けて学校を出発しました。車窓からの景色は、同じ立山町にもかかわらず新鮮なものでした。子供たちのわくわくする気持ちがさらに高まりました。今年は公共交通機関を利用して、標高2450mの高さまで登り、雄山頂上を目指しました。初めて立山に登る子供も多いようで、徐々に険しくなっていく道程から、苦しい表情を見せる子供もいました。しかし、友達のことを励ましながら、登頂するために努力する姿が印象的でした。実際に登ると、立山という場所は富山が誇る唯一無二の場所であり、そこで仲間と過ごした時間は大切な思い出となることを改めて感じました。1日とはいえ、貴重な経験ができたことは大変幸せなことだと思います。保護者の皆様、準備や引率等、本当にありがとうございました。2学期の総合的な学習の時間では、これらの体験を基に、自分でテーマを決め、調べたことをまとめます。これまで以上に子供たちの立山への関心が高まることを期待します。



登山はとても疲れました。まず、準備が大変でした。初めての登山だったので、サングラスやシューズ等、必要な物がたくさんありました。バスでは、朝の集合時間が早かったためか、何回も寝そうになりましたが、高山病のことを考え、起きているように心がけました。登頂したときは、本当にうれしかったです。

思った以上に上りは大変でした。ゴロゴロした岩や不安定な所を歩いたせいか、足や体が痛くなりました。頂上に着いた時は、とても気持ちがよく、達成感がありました。

立山登山では、夏なのに雪がたくさん残っていて、おどろきました。一ノ越まで気温が高く暑かったのに、頂上に近づくとつれ、だんだんと寒くなってくるのが分かりました。宿泊はできなかったけれど、みんなと登頂でき一つの思い出が増えました。

立山カルデラ砂防教室



8月30日(火)、子供防災教室を行いました。カルデラ砂防博物館で、立山カルデラの自然や歴史について学びました。その後、いくつかの砂防堰堤を見学し、過去に大量の崩壊土砂が堆積し、常願寺川流域に何度も土砂災害をもたらしてきたことなどを知りました。自分たちの暮らしを守る砂防事業の大切さを実感することができました。

ぼくは、今日の校外学習で色々なことを知りました。特に、白岩砂防堰堤では土砂災害や地すべり、崖崩れが起こるのを7段の堰堤で防いでいることが分かり、砂が落ちてくる心配はなさそうだな感じました。また、崖を崩さないためにトンネルを中に入れたり、トロッコの屋根を3cmの鉄板で作って落石から守るようにしたりするなど、もしもの時のために工夫されていると思いました。

今日の砂防教室で砂防についてとてもたくさん知ることができました。安政の大災害で立山カルデラが崩壊し水害が起きて沢山の人が亡くなったり家が壊れたりしたと聞き、少し怖くなりました。しかし、この教訓で砂防ダムや岩盤に鉄杭を入れて対策がされ、今は水害があまり起きていないから昔亡くなった人の命は無駄じゃなかったのだと思います。他にもハチがいたり熊がいたりして自然は本当に怖いなと思いました。

事前学習のときに、砂防ダムの歴史等を教えてもらったけれど、今日の砂防学習では、もっと詳しく教えてもらいました。例えば、砂防の工事に使う物を運ぶ用のトロッコがありました。天井に厚さ3cmの鉄板があつて、落石から守っているのを知りました。また、どじょう池という深さ3mの池がありました。土砂崩れの影響で川が崩れて、広がってできた池だそうです。とても大きくて迫力がありました。今日の砂防学習では、砂防の工事を行っている普段行けない山奥の場所に行けて、とても高い橋や大きな池があつたりして、すごいと思いました。めったに見ることができない物や場所を見学できて嬉しかったです。

初めにカルデラ砂防博物館でトロッコのこと学びました。以前に家族から少し教えてもらったけれど、トロッコは昔から使われている歴史あるものだと知りました。そして砂防では、とてもすごい作りがされていて、これで私達を守ってくれているのだと、改めて思いました。砂防堰堤をこの目で見たことが印象的でした。前にたくさん雨が降っていた水が川にたくさんたまっていて、だけど私たちには被害がなかったのは砂防堰堤やそれを管理している人たちのおかげなのだと思います。今日はいいい経験ができてよかったです。

今日の校外学習ではとても貴重な体験をさせていただきました。山奥はくまが出たり蜂に刺される人がいたり、グラグラする吊橋があるなど命がけだと思いました。立山温泉は深見家二代目のご先祖様が、見つけたもので、深見家5百年の歴史の重さを感じ、自分としては特別な思いで行きました。

☆ちょっといい話☆

①Fさんに声をかけるMさん

初めての給食当番を行うFさん。白衣を着たまま、座席に着こうとすると、「白衣脱いでから、給食を食べるよ」とそっと教えていました。

②5年生が不在の給食委員会

給食委員会のTさんとNさんとTさん。3人は、担当の週でないのにもかかわらず、進んで食缶や食器をコンテナまで運びました。そこにいたAさん、Mさんも自ら手伝い、あっという間に片付けました。朝の会で、5年生が不在であることを伝えましたが、学校のために仕事をする姿を見て、うれしい気持ちになりました。

